専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	
スポーツ科学部	講師	沼田薫樹		有

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月日（期間）	概　要
1　教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		
2　作成した教科書、教材、参考書		
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4　その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　研究活動

著書（単著）

書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月

著書（共著・分担執筆）

題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
体育・スポーツ・健康 概論	稲垣良介，大峰光博，北村尚浩，日下知明，小坂井留美，小浜明，齊藤雄大，真田久，佐野真也，清水幸子，関朋昭，田中美吏，永谷稔，沼田薫樹，浜田幸史，堀内雅弘，前田博子，三井登，山田理恵，渡邉泰典	81-85	ナカニシヤ出版	東京	2023年9月

原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
大学女子バレーボールチームを事例とした勝敗とサーブミス及びレセプションアタックの関係	沼田 薫樹，濱田幸二，坂中美郷，村上俊祐，髙橋仁大	スポーツパフォーマンス研究	11	97-105	2019
北海道男子バレーボールチームにおける攻撃の成否に関わる技術	沼田薫樹，小林秀紹	北海道体育学研究	54	1-10	2019年9月
GPS を用いた 7 人制ラグビーのタックルにおける選手間距離の定量化の試み	松橋瑠偉，甲斐智大，沼田薫樹，柏木涼吾，村上俊祐，髙橋仁大	スポーツパフォーマンス研究	11	472-480	2019年11月
大学女子バレーボールチームにおけるコーチングとゲームスタッツに関する研究 ： 鹿児島県の４年制大学と短期大学の比較	黒原貴仁，沼田薫樹，濱田幸二，坂中美郷，宮里新之介，山口あずさ	南九州地域科学研究所所報	36	27-31	2020年3月
大学女子バレーボール選手のブロックにおける指導者の主観的な評価とパフォーマンスの関係	沼田薫樹，本嶋良恵，坂中美郷，濱田幸二，柏木涼吾，髙橋仁大	スポーツパフォーマンス研究	12	576-586	2020年9月
テニスにおけるサービスのパフォーマンス向上に向けた取り組みとその効果	村上俊祐，柏木涼吾，岩永信哉，沼田薫樹，髙橋仁大	スポーツパフォーマンス研究	12	606-621	2020年10月
シャッターゴーグルを用いた直球を見るトレーニングがバントパフォーマンスに及ぼす影響	藤井 雅文，林 啓太郎，鈴木 智晴，沼田 薫樹，村上 光平，前田 明	学術研究紀要 / 鹿屋体育大学	58	99-105	2020年11月
KINEMATIC DIFFERENCES IN LEFT-RIGHT SIDE IN BLOCKING AMONG COLLEGE WOMEN'S VOLLEYBALL PLAYERS IN JAPAN	Koki Numata, Yoshie Motoshima, Koji Hamada, Misato Sakanaka, Shunsuke Murakami, Ryogo Kashiwagi, Hiroo Takahashi	Malaysian Journal of Movement,	10	51-54	2021年1月

THE DIFFERENCES IN THE BALL SPEED AND THE SPIN RATE DEPENDING ON THE RESULTS OF A TENNIS SERVE	Ryogo Kashiwagi, Shuhei Okamura, Shinya Iwanaga, Shunsuke Murakami, Koki Numata, Hiroo Takahashi	Malaysian Journal of Movement,	10	48-50	2021年1月
女子バレーボールにおける決定木分析と項目反応理論を用いた達成基準と困難度の検討	沼田薫樹，濱田幸二，坂中美郷，柏木涼吾，髙橋仁大	バレーボール研究	23	18-23	2021年6月
コロナ禍における大学女子バレーボールチームを対象としたインカレ優勝までの過程	沼田薫樹，濱田幸二，坂中美郷	コーチング学研究	35	295-302	2022年3月
テニスにおける1stサービスのスピード及び回転数とポイント取得率の関係-サービスコースに着目して-	柏木涼吾，村上俊祐，岡村修平，沼田薫樹，岩永信哉，髙橋仁大	九州体育・スポーツ学研究	36	1-12	2022年3月
女性スポーツ科学研究者増のための「スポ女」育成の方策と課題	坂中美郷，濱田幸二，中村夏実，国重徹，沼田薫樹，高波宗人，山田理恵	学術研究紀要 / 鹿屋体育大学	60	67-83	2022年12月
大学女子バレーボール選手のセッターにおける注視点に関する研究	沼田薫樹，坂中美郷，濱田幸二	バレーボール研究	25	22-26	2023年6月
Left-right differences in ground reaction force during blocking in college female volleyball players	Koki Numata, Koji Hamada, Ryogo Kashiwagi, Misato Sakanaka	Advances in Intelligent System		137-140	2023年7月
Game-Performance-Analysis of High School Tennis Players with Low Competitive Performance	Ryogo Kashiwagi, Shunsuke Murakami, Shinya Iwanaga, KokiNumata, Shuhei Okamura, Hiroo Takahashi	Advances in Intelligent System		151-154	2023年7月
The Relationship Between Technique and Score in Tennis Doubles - A Study of Male and Female Collegiate Tennis Players	Shuhei Okamura, Koki Numata, Ryogo Kashiwagi	Advances in Intelligent System		117-120	2023年7月
大学女子バレーボールゲームにおけるハイセットの成功率と勝敗の関係に関する研究ーポジション別の成功率と実施ゾーンに着目してー	村川誠，沼田薫樹	福岡教育大学紀要	73	75-82	2024年3月
バレーボールにおけるサイドラインの外に弾き出して得点するブロックアウト遂行時の状況判断過程の分析：ブロックアウトを得意としていた大学女子バレーボールコーチの運動実践知の構造化	坂中美郷，下川美佳，椊ちか子，田川浩子，沼田薫樹，濱田幸二	スポーツパフォーマンス研究	16	261-270	2024年10月
女子Vリーグを対象としたレセプションアタックにおけるレフト攻撃の成否に関わる要因：インシステムとアウトオブシステムに着目して	田中響，濱田幸二，坂中美郷，沼田薫樹，大工園彩夏，髙橋仁大	スポーツパフォーマンス研究	17	99-106	2025年1月
バレーボールにおける地方学連選抜チームの短期間でのチームづくりに関する事例研究 ： 2023 年度学連対抗戦を対象として	村川誠，沼田薫樹，濱田幸二，篠木賢一，金森晴香，坂中美郷	福岡教育大学紀要	74	67-76	2025年3月

総説

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月

その他　（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）

区分	題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
選択		選択				
選択		選択				

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国内(一般演題)	2019年3月	日本体育測定評価学会 第18回大会	項目反応理論を用いたバレーボールにおけるゲーム評価項目の困難度	札幌国際大学	沼田 薫樹，濱田幸二，坂中美郷，村上俊佑，髙橋仁大
国内(一般演題)	2019年7月	第5回日本スポーツパフォーマンス学会大会	女子バレーボールトップリーグにおけるゲーム評価項目の達成基準	東京ビッグサイト	沼田薫樹，濱田幸二，坂中美郷，村上俊佑，柏木涼吾，髙橋仁大
国内(一般演題)	2019年7月	第5回日本スポーツパフォーマンス学会大会	テニスにおけるグラウンドストロークの評価テストの作成	東京ビッグサイト	岩永信哉，村田宗紀，村上俊祐，柏木涼吾，沼田薫樹，髙橋仁大
国内(一般演題)	2019年7月	第5回日本スポーツパフォーマンス学会大会	テニスのサービスにおけるコースごとのスピード及び回転数	東京ビッグサイト	柏木涼吾，村上俊祐，沼田薫樹，岩永信哉，髙橋仁大
国内(一般演題)	2019年7月	第5回日本スポーツパフォーマンス学会大会	テニスにおけるサービスのパフォーマンス向上に向けた取り組みとその効果	東京ビッグサイト	髙橋仁大，柏木涼吾，岩永信哉，沼田薫樹，村上俊祐

国際	2019年10月	Asia-Pacific Conference on Performance Analysis in Sports 2019	The turning point for winning a set and the item difficulty of skills-based variables in Volleybal l	名古屋大学	Koki Numata, Koji Hamada, Misato Sakanaka, Shunsuke Murakami, Ryogo Kashiwagi, Hiroo Takahashi
国際	2019年10月	Asia-Pacific Conference on Performance Analysis in Sports 2019	The relationship between speed and spin of serve and serve-return in tennis	名古屋大学	Ryogo Kashiwagi, Shunsuke Murakami, Koki Numata, Shinya Iwanaga, Hiroo Takahashi
国際	2019年10月	Asia-Pacific Conference on Performance Analysis in Sports 2019	Evaluation of Tennis serve based on Ball data and Movement screening -Focus on the Impact location	名古屋大学	Shunsuke Murakami, Koki Numata, Ryogo Kashiwagi, Shinya Iwanaga, Hiroo Takahashi
国内(一般演題)	2020年2月	日本体育測定評価学会第19回大会	バレーボールにおけるVRを用いたレセプション時のボール軌道を予測する能力の比較	オンライン	沼田薫樹, 濱田幸二, 坂中美郷, 中本浩揮, 安田睦実, 村上俊佑, 柏木涼吾, 髙橋仁大
国内(一般演題)	2020年2月	日本体育測定評価学会第19回大会	テニスのサービスにおけるスピードおよび回転数－IN・FAULT・ACEに着目して－	オンライン	柏木涼吾, 村上俊祐, 沼田薫樹, 髙橋仁大
国内(一般演題)	2020年2月	日本体育測定評価学会第19回大会	テニスのグラウンドストローク評価テストの開発	オンライン	髙橋仁大, 青木駿弥, 柏木涼吾, 岩永信哉, 沼田薫樹, 村上俊祐
国内(一般演題)	2020年3月	日本バレーボール学会第25回大会	女子バレーボールにおける決定木分析と項目反応理論を用いた達成基準の検討-V.LEAGUEと大学を対象として-	オンライン	沼田薫樹, 濱田幸二, 坂中美郷, 髙橋仁大
国内(一般演題)	2020年3月	日本コーチング学会第31回大会	ビーチバレーにおける決定木分析を用いた達成基準の検討	オンライン	沼田薫樹, 濱田幸二, 坂中美郷, 村上俊佑, 柏木涼吾, 髙橋仁大
国内(一般演題)	2020年3月	日本コーチング学会第31回大会	テニスのサービスにおいてスピード及び回転数がポイント取得に及ぼす影響 サービスコースに着目して	オンライン	柏木涼吾, 村上俊祐, 沼田薫樹, 岩永信哉, 髙橋仁大
国内(一般演題)	2020年3月	日本コーチング学会第31回大会	地方テニス協会における指導者講習プログラムの実践報告 実践力の向上を目指したアクティブラーニング形態の導入	オンライン	村上俊祐, 沼田薫樹, 柏木涼吾, 岩永信哉, 髙橋仁大
国内(一般演題)	2020年9月	九州体育・スポーツ学会第69回大会	九州大学女子トップレベルバレーボール選手におけるブロックのキネマティクス特性	オンライン	沼田薫樹, 濱田幸二, 坂中美郷, 髙橋仁大
国内(一般演題)	2020年9月	九州体育・スポーツ学会第69回大会	ジュニア期以降に競技力を向上させた男子学生テニス選手の事例的研究ー大学1,2年次に着目してー	オンライン	岡村修平, 岩永信哉, 沼田薫樹, 髙橋仁大
国内(一般演題)	2020年9月	九州体育・スポーツ学会第69回大会	大学男子テニスにおけるサービスゲームでのラリー数とポイント取得との関係	オンライン	髙橋仁大, 岩永信哉, 岡村修平, 沼田薫樹
国際	2020年11月	International Sports Medicine & Sports Science Conference	Kinematic differences in left-right side in blocking among college women’s volleyball players in Japan	オンライン	Koki Numata, Yoshie Motoshima, Koji Hamada, Misato Sakanaka, Shunsuke Murakami, Ryogo Kashiwagi, Hhiroo Takahashi
国際	2020年11月	International Sports Medicine & Sports Science Conference	Ball speed and spin rate of backhand groundstrokes in professional male tennis players - comparison between Topspin shots and Slice shots	オンライン	Shunsuke Murakami, Shuhei Okamura, Ryogo Kashiwagi, Shinya Iwanaga, Koki Numata, Hiroo Takahashi
国際	2020年11月	International Sports Medicine & Sports Science Conference	The relationship between the scoring and the rally numbers in men’s collegiate tennis in Japan	オンライン	Hiroo Takahashi, Shuhei Okamura, Ryogo Kashiwagi, Shinya Iwanaga, Koki Numata, Shunsuke Murakami
国際	2020年11月	International Sports Medicine & Sports Science Conference	The differences of the ball speed and the spin rate depending on the results of tennis serves	オンライン	Ryogo Kashiwagi, Shunsuke Mmurakami, Koki Nnumata, Shuhei Okamura, Shinya Iwanaga, Hiroo Takahashi
国内(一般演題)	2020年12月	第6回日本スポーツパフォーマンス学会大会	大学女子バレーボール選手におけるスパイクのテイクオフ差異によるキネマティクス特性	オンライン	沼田薫樹, 濱田幸二, 坂中美郷, 本嶋良恵, 髙橋仁大
国内(一般演題)	2020年12月	第6回日本スポーツパフォーマンス学会大会	ジュニア期以降に競技力を向上させた男子大学テニス選手の事例的研究ーネットプレーに着目してー	オンライン	岡村修平, 村上俊祐, 沼田薫樹, 柏木涼吾, 岩永信哉, 髙橋仁大

国内(一般演題)	2020年12月	第6回日本スポーツパフォーマンス学会大会	学生テニス選手におけるサービスのスピードと回転数の継時的変化	オンライン	髙橋仁大，岡村修平，柏木涼吾，岩永信哉，沼田薫樹，村上俊祐
国内(一般演題)	2020年12月	第6回日本スポーツパフォーマンス学会大会	テニスの上級者はどのようにスイングしインパクトしているのか？ ー大学生テニス選手のグラウンドストロークにおけるスイングスピード・ラケット面角度・スイング軌道およびインパクトスポットに着目してー	オンライン	村上俊祐，岡村修平，柏木涼吾，岩永信哉，沼田薫樹，髙橋仁大
国内(一般演題)	2020年12月	第6回日本スポーツパフォーマンス学会大会	高校生テニス選手を対象としたグラウンドストローク場面のゲームパフォーマンス分析	オンライン	岩永信哉，村上俊祐，沼田薫樹，柏木涼吾，岡村修平，髙橋仁大
国内(一般演題)	2020年12月	第6回日本スポーツパフォーマンス学会大会	男子プロテニス選手におけるラリー数とポイント取得率の関係について	オンライン	柏木涼吾，村上俊祐，沼田薫樹，岡村修平，岩永信哉，髙橋仁大
国内(一般演題)	2021年3月	日本コーチング学会 第32回大会	大学女子バレーボール選手権の優勝におけるゲームパフォーマンスからみた一要因とその過程	オンライン	沼田薫樹，濱田幸二，坂中美郷，村上俊祐，髙橋仁大
国内(一般演題)	2021年3月	日本バレーボール学会 第26回大会	ミドルブロッカーとアウトサイドヒッターにおける注視点の比較 〜ブロックを想定とした、相手からの攻撃映像を視聴して〜	オンライン	沼田薫樹，濱田幸二，坂中美郷，髙橋仁大
国内(一般演題)	2021年6月	第7回日本スポーツパフォーマンス学会大会	大学女子バレーボール選手における跳躍負荷に関する研究	東京ビッグサイト	沼田薫樹，濱田幸二，和田智仁，前田 明，坂中美郷
国内(一般演題)	2022年3月	日本コーチング学会 第33回学会大会	大学女子バレーボール選手のセッターにおける注視点に関する研究	オンライン	沼田薫樹，東美奈，坂中美郷，濱田幸二
国内(一般演題)	2022年3月	日本コーチング学会 第33回学会大会	テニスのサービス動作技能修得のための評価基準作成に関する研究	オンライン	大澤啓亮，村上俊祐，沼田薫樹，髙橋仁大
国内(一般演題)	2022年3月	日本コーチング学会 第33回学会大会	女子中高生・女子大学生のスポーツ科学への興味・関心の向上を目指したイベント開催の効果	オンライン	坂中美郷，濱田幸二，中村夏実，国重徹，沼田薫樹，高波宗人，山田理恵
国内(一般演題)	2022年3月	日本バレーボール学会 第27回大会	スパイクにおける跳躍高と攻撃結果の関係	オンライン	沼田 薫樹，濱田 幸二，坂中 美郷
国内(一般演題)	2022年7月	第8回 日本スポーツパフォーマンス学会大会	慣性センサを用いた異なるブロックステップにおける跳躍高の実践的研究	東京ビッグサイト	沼田薫樹，濱田幸二，和田智仁，坂中美郷
国内(一般演題)	2022年7月	第8回 日本スポーツパフォーマンス学会大会	テニスにおけるゲームパフォーマンス分析を活用したコーチングの実践—競技力の低い高校生テニス選手を対象として—	東京ビッグサイト	柏木涼吾，村上俊祐，沼田薫樹，岡村修平，髙橋仁大
国際	2022年9月	13th World Congress of Performance Analysis of Sport 2022 & 13th International Symposium on Computer Science in	Left-right differences in ground reaction force during blocking in college female volleyball players	University of Vienna	Koki Numata, Koji Hamada, Ryogo Kashiwagi, Misato Sakanaka
国際	2022年9月	13th World Congress of Performance Analysis of Sport 2022 & 13th International Symposium on Computer Science in Sport 2022	Game-Performance-Analysis of High School Tennis Players with Low Competitive Performance	University of Vienna	Ryogo Kashiwagi, Shunsuke Murakami, Shinya Iwanaga, Koki Numata, Shuhei Okamura, Hiroo Takahashi
国際	2022年9月	13th World Congress of Performance Analysis of Sport 2022 & 13th International Symposium on Computer Science in Sport 2022	The Relationship between Technique and Scores in Tennis Doubles - A Study of Male and Female Collegiate Tennis Players	University of Vienna	Shuhei Okamura, Koki Numata, Ryogo Kashiwagi
国内(一般演題)	2023年3月	日本バレーボール学会第28回大会	大学女子バレーボール選手のセッターを対象とした VR機器を用いた落下地点予測のトレーニング事例	仙台大学	沼田薫樹，濱田幸二，坂中美郷
国内(一般演題)	2023年3月	日本バレーボール学会第28回大会	バレーボールにおける地方学連選抜チームのチームづくりに関する事例研究	仙台大学	村川誠，沼田薫樹，濱田幸二，篠木賢一，坂中美郷
国内(一般演題)	2023年8月	第9回 日本スポーツパフォーマンス学会大会	大学女子バレーボール選手における慣性センサを用いたトレーニング負荷-量と運動強度の関係	東京ビッグサイト	沼田薫樹，濱田幸二，和田智仁，田中響，坂中美郷
国内(一般演題)	2023年8月	第9回 日本スポーツパフォーマンス学会大会	バレーボールのレセプションアタックにおけるテンポと跳躍高の関係	東京ビッグサイト	田中響，沼田薫樹，和田智仁，村上俊祐，坂中美郷，濱田幸二，髙橋仁大
国内(一般演題)	2024年3月	日本バレーボール学会第29回大会	地方学連選抜の短期間でのチームづくりに関する実践報告	明治学院大学	村川誠，濱田幸二，篠木賢一，沼田薫樹，金森晴香，坂中美郷

国内(一般演題)	2024年3月	日本バレーボール学会第29回大会	女子Vリーグと大学を対象としたレセプションアタックにおけるレフト攻撃の成否に関わる要因：インシステムとアウトオブシステムに着目して	明治学院大学	田中響，大工園彩夏，沼田薫樹，坂中美郷，濱田幸二，髙橋仁大
国内(一般演題)	2024年7月	第10回日本スポーツパフォーマンス学会大会	画像認識技術を用いたバレーボールスパイク動作の位置座標算出システムの構築と評価	東京ビッグサイト	沼田薫樹，AUSTSTEFAN，山口純一
国内(一般演題)	2024年7月	第10回日本スポーツパフォーマンス学会大会	バレーボールにおける国内トップのリベロ選手に関する研究	東京ビッグサイト	大工園彩夏，沼田薫樹，田中響，濱田幸二，坂中美郷，髙橋仁大
国内(一般演題)	2024年7月	第10回日本スポーツパフォーマンス学会大会	テニスのフォアハンドボレーにおける上肢動作の特徴	東京ビッグサイト	松田佳親，田中響，大工園彩夏，村上俊祐，大澤啓亮，沼田薫樹，中村和樹，髙橋仁大
国内(一般演題)	2025年3月	日本バレーボール学会第30回大会	インシステム時のレセプションアタックにおけるレフト攻撃の成否に関わる要因：大学女子バレーボールチームを対象として	慶應義塾大学	田中響，濱田幸二，坂中美郷，大工園彩夏，沼田薫樹，，髙橋仁大

科学研究費等の取得状況

科学研究費／その他の助成金／外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）
科学研究費	日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援	バレーボールにおけるスパイク及びブロックのキネティクス特性	代表	2021年8月-2023年3月	2,730,000円
その他の助成金	鹿屋体育大学 重点プロジェクト事業経費	バレーボールの競技力向上のため，慣性センサを用いたジャンプのコンディショニング管理に関する実践的研究	分担	2021年4月-2022年3月	1,000,000円

特許

特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号		公告・特許番号	国
				取得した場合⇒		例：日本

Ⅲ　加入学会および社会における活動

期　　間	内　　容
加入学会	
2016年4月-現在に至る	日本体育学会、バレーボール学会、日本スポーツパフォーマンス学会、コーチング学会、測定評価学会
2021年6月-現在に至る	日本バレーボール学会 企画委員（2024年-現在 企画委員長）
社会的活動	
2023年4月-2024年3月	九州大学バレーボール連盟 学識経験理事
2023年4月-2024年3月	九州大学バレーボール連盟 総務委員会 副委員長
2023年7月-現在に至る	日本バレーボール協会 ハイパフォーマンス事業本部 ハイパフォーマンスサポート委員会 情報戦略ユニット
2025年4月-現在に至る	関西大学バレーボール連盟 総務委員会 副委員長

Ⅳ　管理活動

期　　間	内　　容
委員会活動	
2024年4月-現在に至る	情報処理委員会、キャリア支援委員会
特別プロジェクト活動	

Ⅴ　クラブ活動の指導業績

1．指導クラブ名	男子バレーボール　部	2．役職	2024～ 監督	3．部員数	50　人
4．現場指導の頻度	①	① ほほ毎日　② 週３日　③ 週１日　④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導　⑤ 全く関与していない			
5．合宿指導	年間合宿回数：　4　回	延べ日数：　20　日			
6．クラブの競技力向上への取り組み	①	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない			
7．クラブの教育及び部員の学習への取り組み	②	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない			

８．部員の就職指導への取り組み	②	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない

９．年間の引率公式大会名	大　会　名	期　　間	場　　所
	関西大学バレーボールリーグ	4月から6月、9月から11月	各大学
	西日本大学バレーボール選手権大会	6月末もしくは7月上旬	関西もしくは広島
	全日本大学バレーボール選手権大会	12月上旬	関東
	関西大学ビーチバレーボール選手権大会	7月	大阪

１０．クラブ戦績　（全日本選手権８位以上、関西選手権４位以上、関西１部リーグ３位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）

開　催　期　間	大　会　名	成　　績	場　　所

Ⅵ　賞罰（職務に関する賞罰）

年　　月	受賞等機関名	内　　容	備　　考
2019年3月	体育測定評価学会	項目反応理論を用いたバレーボールにおけるゲーム評価項目の困難度	優秀発表賞
2020年11月	The International Sports Science and Sports Medicine Conference	KINEMATIC DIFFERENCES IN LEFT-RIGHT SIDE IN BLOCKING AMONG COLLEGE WOMEN'S VOLLEYBALL PLAYERS IN JAPAN	Best E-poster presentation
2020年11月	The International Sports Science and Sports Medicine Conference	The relationship between the scoring and the rally numbers in men' s collegiate tennis in Japan	Best E-poster presentation
2020年12月	第6回日本スポーツパフォーマンス学会大会	テニスの上級者はどのようにスイングしインパクトしているの□□□か？－大学生テニス選手のグラウンドストロークにおけるスイン□□グスピード・ラケット□□□面角度・スイング軌道およびインパクトス□□ポットに□着目して－	学会賞
2022年3月	日本コーチング学会 第33回学会大会	大学女子バレーボール選手のセッターにおける注視点に関する研究	優秀発表賞
2023年3月	日本バレーボール学会 第28回学会大会	大学女子バレーボール選手のセッターを対象としたVR 機器を用いた落下地点予測のトレーニング事例	一般研究優秀賞
2023年8月	第9回 日本スポーツパフォーマンス学会大会	大学女子バレーボール選手における慣性センサを用いたトレーニング負荷-量と運動強度の関係	優秀賞